

○ 事業内容

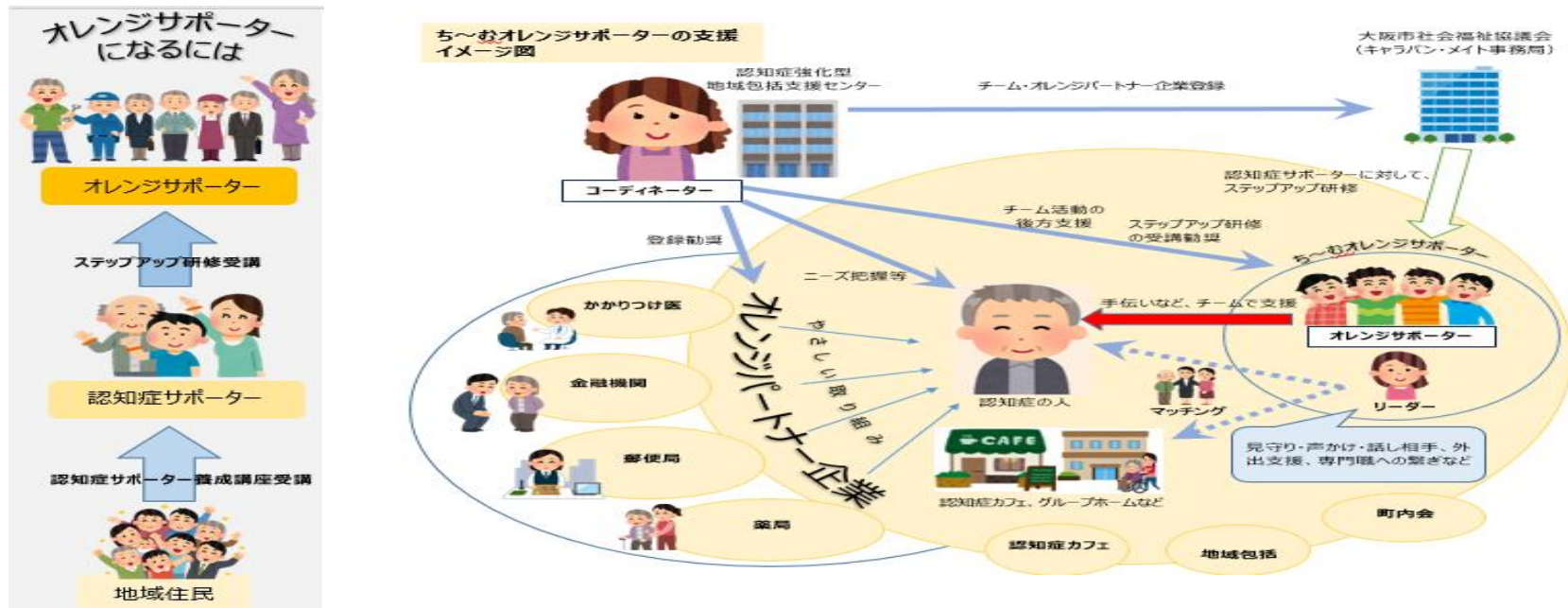
掲載箇所：Ⅱ 重点的な課題と取組み / 第7章－2 認知症施策の推進 P133
Ⅲ 具体的施策 / 第8章－2 認知症施策の推進 P192

「ちーむオレンジサポーター」を構築し、認知症サポーターのさらなる活躍の場を整備

- 認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人やその家族への支援を行う「ちーむオレンジサポーター」の仕組みを構築し、令和2年4月から全区の認知症強化型地域包括支援センターにおいて、認知症地域支援コーディネーターを配置し、認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりに取り組んでいる。

「オレンジパートナー」制度を創設

- 認知症の人にやさしい取組みを実施する企業・団体等をオレンジパートナーの登録企業・団体として発信していき、その輪が広がることにより、認知症の人が安心して生活できるまちづくりを目指している。



○ 令和3年度からの主な活動

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ステップアップ研修等の開催が遅れていることから、オレンジサポーターの養成が行えず、チームの登録は進んでいない。

● ステップアップ研修の開催

＜主な研修内容＞

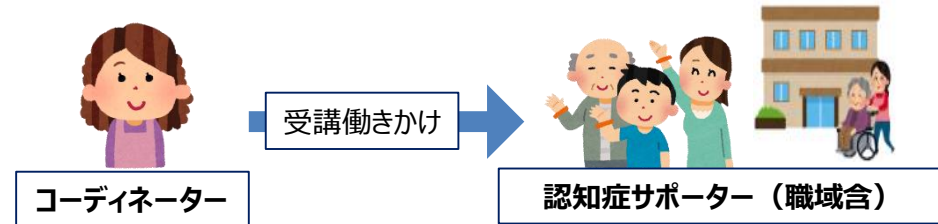
- ・ 認知症に関する知識を深める
- ・ 認知症の人への対応について
(国が発行しているテキスト内容に準拠し、一般地域向けに簡易な事例を反映した、認知症の人の意思決定支援を含む)
- ・ ちむオレンジサポーター活動の実践について
(グループワーク)



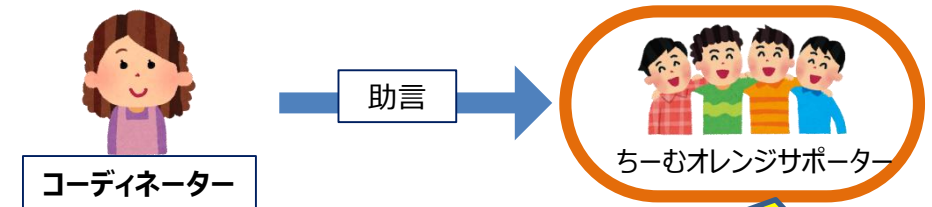
＜実施方法＞

新型コロナウイルス感染症の感染リスクを回避することを目的として、集合研修と同様、受講者同士がグループ討議を行ったり、わからない点を質問できたりと、双方向の学びが可能な体制を整えた上で、オンラインも活用していく。

● ステップアップ研修の受講勧奨

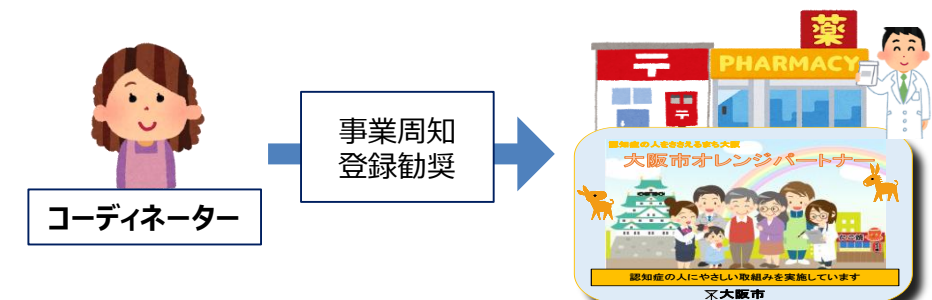


● チームオレンジサポーターの立ち上げ支援



リーダーが中心となって、複数人で支援を行うことを想定。
【具体例】
見守り・声かけ、話し相手、外出支援、専門職への繋ぎなど

● オレンジパートナー企業の広報・周知、登録勧奨



○ 目標及び取組内容

掲載箇所 IV - 第9章

施設等の整備目標数・サービス目標量及び自立支援・重度化防止等に係る取組みと目標 P259

第8期の目標

「ちーむオレンジサポーター」数

目標値：2023（令和5）年度末までに300チーム

取組内容

認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人やその家族への支援を行う「ちーむオレンジサポーター」の仕組みを構築するとともに、認知症の人にやさしい取組みを行うオレンジパートナー企業の登録を増やしていくことにより、認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりに取組みます。

○ 進捗状況

- ・ 令和3年6月 認知症地域支援コーディネーターを対象に事業検討会を開催
- ・ 令和3年7月 認知症地域支援コーディネーターを対象に事業検討会を開催
- ・ 令和3年8月 ステップアップ研修を開催（ハイブリッド形式にて26日、30日）
- ・ 令和3年12月、令和4年3月予定 ステップアップ研修を開催（実施方法は未定）

- ・ **令和3年度は**、オレンジサポーター（認知症サポーター養成講座を受講後、ステップアップ研修を受講した人）の養成を進め、ちーむオレンジサポーター **50チーム登録を目指す**。
- ・ 併せて、オレンジパートナー登録企業・団体数を増やしていく。（令和3年7月末時点：957件）
金融機関・郵便局の割合が全体のおよそ40%を占めている。

○ オレンジパートナー企業により現在実施されている主な取組内容（例）

見守り活動

- ATMや窓口等で積極的に声かけを行い、安心して利用できる環境づくり（**金融機関・郵便局**）
- 認知症の疑われる人と地域包括支援センターや初期集中支援チームへの橋渡し（**薬局・郵便局**）

企業内での取組

- 毎年、認知症サポーター養成講座の開催（**金融機関・民間企業**）
- 営業所内で認知症の勉強会の実施（**金融機関**）
- 定期的な家族相談会の開催（**薬局**）
- 認知症の冊子を作成し窓口等での啓発（**保険会社**）

地域との連携

- 無料の憩いスペースの提供（**建築関係**）
- 認知症予防の体操教室の開催（**専門学校**）
- 地域の勉強会やミーティングの実施・支援（**医療機関**）
- 地域事業所への公開学習会の開催（**薬局**）
- 地域住民への認知症サポーター養成講座の開催（**民間企業**）